

団体交渉報告

平成30年度当初予算の概要説明を受政策委員会の意見反映を要望した！

二〇一八年二月十五日(木) 天神川三階会議室で行われた団体交渉では、当局から、予算概要について説明があり、自動車運送事業の予算重点では、路線・ダイヤの充実や混雑対策の推進をはじめとする六項目を挙げ、経常増益を約11億1千万円を計上するとしていた。(詳細別途)

次に、高速鉄道事業の予算重点では、増収増客の取り組みや安全対策の推進を盛り込んだ四項目を挙げ、年度末企業債等残高を三千五百億円以上を抱えるもの、現金収支で約二億二千万円を計上する予算概要としました。(詳細別途)

佐田佐田局長が「今後とも良い数字を過信することなく、功績を積み上げて欲しい。乗客数一日八〇万人の目標に向け、労使協調で取り組むために、政策委員会での意見反映を強く要望する」とした。最後に、瀬戸高志執行委員長が「地方でレンタサイクルの活用が延びていると聞いて、京都のバス事業についても、中心部で市民が乗れない状況があり、自転車やバイクにシフトされないように十分な対策を検討するよう」と要望があり、団体交渉が終了した。



～団体交渉に臨んだ京交執行委員～

二〇一八年二月十五日(木) 天神川三階会議室で行われた団体交渉では、当局から、予算概要について説明があり、自動車運送事業の予算重点では、路線・ダイヤの充実や混雑対策の推進をはじめとする六項目を挙げ、経常増益を約11億1千万円を計上するとしていた。(詳細別途)

次に、高速鉄道事業の予算重点では、増収増客の取り組みや安全対策の推進を盛り込んだ四項目を挙げ、年度末企業債等残高を三千五百億円以上を抱えるもの、現金収支で約二億二千万円を計上する予算概要としました。(詳細別途)

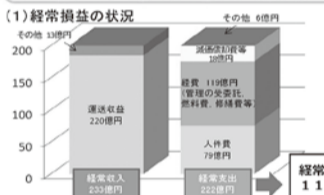
佐田佐田局長が「今後とも良い数字を過信することなく、功績を積み上げて欲しい。乗客数一日八〇万人の目標に向け、労使協調で取り組むために、政策委員会での意見反映を強く要望する」とした。最後に、瀬戸高志執行委員長が「地方でレンタサイクルの活用が延びていると聞いて、京都のバス事業についても、中心部で市民が乗れない状況があり、自転車やバイクにシフトされないように十分な対策を検討するよう」と要望があり、団体交渉が終了した。



発行所 京都交通労働組合
京都市中京区壬生坊城町48
TEL075-841-0948 FAX075-811-3536
定価 一部10円
本紙の購読料は組合費に含まれています
毎月1日発行
発行者 瀬戸 高志
編集者 梅田 涼

平成30年度当初予算案の概要について

- ### 1 予算概要
- 〇 路線・ダイヤの充実(30年3月実施)
ア 通勤・通学時間帯の増便
イ ICカード利用の環境整備
ウ 地下鉄と他社とのIC連携定期券の拡充
エ 地下鉄・市バスお客様1日80万人に向けた取組により、1日当たりお客数は36万8千人
 - 〇 経常増益は、11億円の黒字を確保
ア 市バスの利便性の向上と混雑緩和に向けた取組の推進などにより、11億円の経常黒字を確保
 - 〇 利益剰余金を市バスの将来負担に備えるとともに、地下鉄会計を支援するために活用
ア 利益剰余金(28年度確定:2億87百万円)は、今後の車両や設備の更新に備えるため建設改良基金に積み立てる(12億1千万円)とともに、地下鉄会計の経営健全化を財政面から支援するために出資(13億34百万円)
ウ これまでの出資に対し一般会計へ還元(1億34百万円)



(2) 予算の主要数値

項目	30年度予算(A)	29年度予算(B)	差引増減(A-B)
在籍車両数	818両	808両	10両
走行キロ数 〔1日1日平均〕	87.3千km	86.5千km	0.8千km
乗客数 〔1日1日平均〕	368千人	360千人	8千人
経常増益	11億円	7億円	4億円
利益剰余金 〔30年度末残高〕	90億円	87億円	3億円
経常赤字	3億2千万円	2億2千万円	1億千万円
年度末企業債残高	51億円	48億円	3億円

3 財政状況 (前年度予算からの増減)

区分	30年度予算(A)	29年度予算(B)	差引増減(A-B)
営業収入	230	219	11
営業外収入	220	208	12
営業外支出	2	2	0
営業収入増減	233	222	11
営業費用	215	208	7
営業費用増減	18	14	4
営業収入増減	115	108	7
営業費用増減	17	15	2
営業外収入増減	6	6	0
営業外支出増減	6	6	0
差引	10	6	4
経常増益	10	7	3
経常赤字	3	2	1
経常赤字増減	1	1	0

2 予算の重点

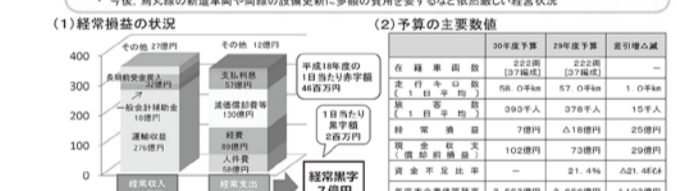
- #### (1) 増収増客の取組
- ア 増便によるダイヤの充実(30年3月実施)
イ ICカード利用の環境整備
ウ 地下鉄と他社とのIC連携定期券の拡充
エ 地下鉄・市バスお客様1日80万人に向けた取組により、1日当たりお客数は36万8千人
 - ア 経常増益の確保
イ ICカード利用の環境整備
ウ 地下鉄と他社とのIC連携定期券の拡充
エ 地下鉄・市バスお客様1日80万人に向けた取組により、1日当たりお客数は36万8千人
- #### (2) 安全対策等の推進
- ア 安全対策
イ 環境への配慮
- #### (3) お客サービスの向上
- ア 通勤・通学時間帯の増便
イ ICカード利用の環境整備
ウ 地下鉄と他社とのIC連携定期券の拡充
エ 地下鉄・市バスお客様1日80万人に向けた取組により、1日当たりお客数は36万8千人
- #### (4) 経常健全化(団体から1年前倒し)での脱却を前提とした予算案
- ア 経常健全化(団体から1年前倒し)での脱却を前提とした予算案

2 予算の重点

- #### (1) 路線・ダイヤの充実(30年3月実施)
- ア 通勤・通学時間帯の増便
イ ICカード利用の環境整備
ウ 地下鉄と他社とのIC連携定期券の拡充
エ 地下鉄・市バスお客様1日80万人に向けた取組により、1日当たりお客数は36万8千人
- #### (2) 混雑対策の推進
- ア JR西日本等の民間事業者との連携により、関西国際空港等から入るお客に対し、キャリアバッグ等を配る
- #### (3) 魅力あるバス持ち帰り環境の創出
- ア 周辺部等におけるバス乗降の環境整備(45箇所)
イ ツーラーバス(大塚線)の設置(150箇所)
ウ 地域の皆様や事業者等の方々の協力によるバス待ち空間「バスの駅」の整備(10箇所)
エ インターネットを活用したバス乗降表示の設置(10箇所)
オ ペンチ整備推進(40箇所)
カ 京都駅バスターミナル6号のりばにドライブレコーダー設置(2箇所)
- #### (4) 安全運行の推進等
- ア 歩行者等への注意喚起の強化(音声やLED化)
イ 夜間降りの事故防止のための乗降口をLED化(2箇所)
ウ 安全運行推進を推進し、車内転倒や接触等による事故防止に向けた取り組み(2箇所)
- #### (5) 多様なお客サービスの拡充
- ア トラフカドカードの乗車引換の拡充(新規)
イ 障害のある方や高齢の方などすべてのお客に快適にご利用いただけるよう交通サポートマネージャーの資格を有する運転士を養成(新規)
ウ 外国人観光客に配慮したサービス(多言語対応)の拡充(新規)

高速鉄道事業

- ### 1 予算概要
- 〇 経常健全化(団体から1年前倒し)での脱却を前提とした予算
ア 安全対策、お客サービスの向上に努めながら、新たな増収増客の取組や経常健全化を着実に推進したことで、平成30年度は、経常健全化(団体から1年前倒し)での脱却を前提とした予算と見込み
 - 〇 地下鉄・市バスお客様1日80万人に向けた取組により、1日当たりお客数は36万8千人
ア 地下鉄・市バスお客様の見直しによりお客数の減少が見込まれるもの、混雑緩和に向けた取組やダイヤの充実などにより、1日当たりお客数は36万8千人を確保する
- #### (2) 経常黒字7億円の黒字を計上
- ア 地下鉄・市バスお客様1日80万人に向けた取組やサービス向上による増収により、経常増益は前年度比10億円の増収
- #### (3) 依然厳しい経営状況
- ア 企業債等残高は3億3,553億円に、経常健全化(団体から1年前倒し)での脱却を前提とした予算案により、経常赤字は3億円に増収



3 財政状況 (前年度予算からの増減)

区分	30年度予算(A)	29年度予算(B)	差引増減(A-B)
営業収入	301	292	9
営業外収入	275	265	10
営業外支出	50	42	8
営業収入増減	18	8	10
営業費用	18	8	10
営業費用増減	32	24	8
営業収入増減	345	324	21
営業費用増減	6	6	0
差引	6	2	4
経常増益	6	2	4
経常赤字	1	1	0
経常赤字増減	0	0	0

主な混雑対策事業 (平成30年度予算案)

事業名	事業概要	03予算案	自前年増	差
バス(一日券)及び「地下鉄・市バス(一日券)」の価格改定による対策(市バスから地下鉄への乗り換え)	【乗車回数】 乗客数 乗客数	58,900	46,954	11,946
民間事業者等からの乗客に対する手ぶら乗降サービス等の取組	【乗客数】 乗客数 乗客数	7,000	3,500	3,500
京都駅バス「おもてなしコンシェルジュ」の取組	【乗客数】 乗客数 乗客数	2,000	2,000	0
地下鉄・市バスお客様1日80万人に向けた取組	【乗客数】 乗客数 乗客数	36,000	36,000	0
地下鉄・市バスお客様の見直しによる対策	【乗客数】 乗客数 乗客数	2,000	2,000	0
地下鉄・市バスお客様の見直しによる対策	【乗客数】 乗客数 乗客数	11,000	5,000	6,000

経路・ダイヤの充実による対策

事業名	事業概要	03予算案	自前年増	差
「前乗り後降り」方式の導入	【乗客数】 乗客数 乗客数	40,733	40,733	0
京都駅「前乗り後降り」方式の導入	【乗客数】 乗客数 乗客数	13,000	12,500	500
経常増益の確保	【乗客数】 乗客数 乗客数	1,161,748	1,161,748	0
経常増益の確保	【乗客数】 乗客数 乗客数	1,130,918	1,130,918	0
乗客サービスの向上	【乗客数】 乗客数 乗客数	31,300	31,300	0
合計		1,261,389	1,248,926	12,463
うち経常増益(当年度)		67,900	63,900	4,000
うち経常増益(前年度)		(28,200)	(24,200)	(4,000)



第4回中央委員会報告

2018春季生活闘争方針並びに2017年度第2四半期会計決算を確認!

二〇一八年二月二十三日(金)幸ビルで開催された中央委員会では冒頭、瀬戸高志執行委員長が昨

二月十日に新採用したアルバイト書記の太田真緋さんを紹介した

運動に対して感謝を述べ

①三月の新運輸計画について

②交通局の状況について

③京都府知事選挙について

触れ、挨拶に立った。報告事項は日程から

その他まで六項目(詳細下記)について説明があり、確認をした。議案事項では、二〇一七年度第

二四半期会計決算並びに監査報告、二〇一八年度春季生活闘争方針(案)及びそれに基いた春闘要求書(案)その他三点について、満場一致で承認を行った。民間企業がメイ

ンの春闘だが秋闘に繋がる景気回復を祈念し中央委員会が閉会した。

二〇一八年二月二十三日(金)幸ビルで開催された中央委員会では冒頭、瀬戸高志執行委員長が昨

二月十日に新採用したアルバイト書記の太田真緋さんを紹介した

運動に対して感謝を述べ

①三月の新運輸計画について

②交通局の状況について

③京都府知事選挙について

触れ、挨拶に立った。報告事項は日程から

その他まで六項目(詳細下記)について説明があり、確認をした。議案事項では、二〇一七年度第

二四半期会計決算並びに監査報告、二〇一八年度春季生活闘争方針(案)及びそれに基いた春闘要求書(案)その他三点について、満場一致で承認を行った。民間企業がメイ

ンの春闘だが秋闘に繋がる景気回復を祈念し中央委員会が閉会した。



アルバイト書記の太田真緋さん



挨拶に立つ瀬戸執行委員長

各種委員会レジメ

2017.12.4
京交組合本部

第9回 執行委員会

報告事項

- 自治労関係
 - 府本部2018年新春旗開きの開催について (別紙)
 - 「安倍9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署名」について (別紙)
- 対局関係
 - 経営ビジョン策定に伴うアンケート調査及び分析業務の委託について (別紙)
 - 市バスの混雑緩和に向けた前乗り後降り方式の実証実験の追加実施について (別紙)
 - 第2回「京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョン検討委員会」の開催について (別紙)
 - 地下鉄丸線車両の新造にかかるデザイン懇談会の開催について (別紙)
 - 平成29年度第2回情報・魅力発信ワーキングについて (別紙)
 - 市バス・地下鉄のクリスマス装飾について (別紙)
 - 地下鉄×嵐電「クリスマススタンプラリー2017」について (別紙)
 - kotochikaクリスマスイベントの開催について (別紙)
- その他

議案事項

- 西賀茂支部エンパワメント活動(案)について (別紙)
- 烏丸支部エンパワメント活動(案)について (別紙)
- 梅津支部エンパワメント活動(案)について (別紙)
- 九条支部エンパワメント活動(案)について (別紙)
- 烏丸線乗務支部エンパワメント活動(案)について (別紙)
- 東西線乗務支部エンパワメント活動(案)について (別紙)
- 駅務支部エンパワメント活動(案)について (別紙)
- 電整支部エンパワメント活動(案)について (別紙)
- その他

2017.12.26
京交組合本部

第10回 執行委員会

報告事項

- 1月日程について (別紙)
- 自治労関係
 - 府本部第3回執行委員会について (別紙)
 - 府本部第168回中央委員会の召集について (別紙)
 - 第9回都市交評幹事会について (別紙)
- 対局関係
 - 団体交渉について (別紙)
 - 賃金委員会について (別紙)
 - 平成29年度末準高齢特別退職の実施について等 (別紙)
 - 大晦日の市バス・地下鉄の終夜運行について (別紙)
 - 年始期間の上賀茂神社周辺における一部系統の経路変更の実施について (別紙)
 - 新しい一日乗車券等の発売及び現行乗車券の取扱いについて (別紙)
 - 全面禁煙(屋内禁煙)の実施に向けた取組について (別紙)
 - 平成29年度第3回情報・魅力発信ワーキングについて (別紙)
 - 平成29年度第2回職員力・お客様サービス向上ワーキングについて (別紙)
 - 第1回「地下鉄丸線車両の新造にかかるデザイン懇談会」について (別紙)
 - 第2回京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョン検討委員会について (別紙)
- 共済組合関係
 - 住宅貸付事業の利率変更について (別紙)
- その他
 - 平成29年度の1日当たりの旅客数(速報値)について (別紙)
 - 近畿労働金庫各種手数料改定のお知らせについて (別紙)
 - 全労済文化フェスティバル創立60周年親子劇場について (別紙)
 - 全労済年末・年始の業務取扱いについて (別紙)

2018.1.11
京交組合本部

第11回 執行委員会

報告事項

- 自治労関係
 - 府本部臨時執行委員会について (別紙)
 - 拡大男女がともに担う府本部委員会及び学習会の開催について (別紙)
- 対局関係
 - 団体交渉について (別紙)
 - 烏丸御池駅及び四條駅の出入口の一時閉鎖期間の変更について (別紙)
 - 「バスの駅」西大手筋 お酒と水のまち 伏見」の設置について (別紙)
- 市労連関係
 - 第5回執行委員会について (別紙)
 - その他

2018.2.22
京交組合本部

第14回 執行委員会

報告事項

- 3月日程について (別紙)
- 自治労関係
 - 府本部第5回執行委員会について (別紙)
 - 第89回京都中央メーデー会場展示用ポスターの募集について (別紙)
- 対局関係
 - 団体交渉について (別紙)
 - 政策委員会について (別紙)
 - 第2回「地下鉄丸線車両の新造にかかるデザイン懇談会」の開催について (別紙)
 - 京都市交通局×高島屋京都店×京都マルイ「ecoスタンプキャンペーン」について (別紙)
 - 「京都修学旅行1dayチケット」の価格等の改定について (別紙)
 - 京都エリアウォーク「二条から歩く」の実施について (別紙)
 - 「ZOOっと一緒!地下鉄パンまつりin岡崎」の開催について (別紙)
- 市労連関係
 - 市労連第2回書記長・賃金担当者会議について (別紙)
 - その他
 - 平成29年度の1日当たりの旅客数(速報値)について (別紙)

議案事項

- 2017年度第2四半期会計決算並びに監査報告について (別紙)
- 2018春季生活闘争方針(案)について (別紙)
- 2018春闘要求書(案)について (別紙)
- 第89回京都中央メーデーの取り組み要項について (別紙)
- 組合書記の契約更新について (別紙)
- アルバイト書記の契約更新について (別紙)

2018.1.24
京交組合本部

第12回 執行委員会

報告事項

- 自治労関係
 - 府本部第4回執行委員会について (別紙)
 - 2018年度地方財政セミナーの開催について (別紙)
 - 那覇地方裁判所宛の要請書の取り組みについて (別紙)
 - チェルノブイリ・フクシマ京都の集い参加について (別紙)
 - 連合京都2018春季生活闘争勝利総決起集会への参加要請について (別紙)
- 対局関係
 - 第1回被服検討ワーキングについて (別紙)
 - 外国人利用者等に向けた「交通系ICカード」の利用促進について (別紙)
 - 外国人利用者等に向けた「京都の電車・バス」の利用案内について (別紙)
 - 「地下鉄・バス一日(二日)券」発売における利用範囲の拡大について (別紙)
 - 技術職受験者向け現場見学会の実施について (別紙)
 - 「バレンタインはちょこっと乾杯!」の開催について (別紙)
 - 駅ナカ商業空間「Kotochika北大路」の開催について (別紙)
- 市労連関係
 - 第6回執行委員会について (別紙)
- 共済組合関係
 - 「医療費のお知らせ」について (別紙)
- その他
 - 西賀茂支部エンパワメント活動報告 (別紙)
 - 烏丸支部エンパワメント活動報告 (別紙)
 - 梅津支部エンパワメント活動報告 (別紙)
 - 九条支部エンパワメント活動報告 (別紙)
 - 烏丸線乗務支部エンパワメント活動報告 (別紙)
 - 東西線乗務支部エンパワメント活動報告 (別紙)
 - 駅務支部エンパワメント活動報告 (別紙)
 - 電整支部エンパワメント活動報告 (別紙)
 - 平成29年度の1日当たりの旅客数(速報値)について (別紙)

2018.1.31
京交組合本部

第13回 執行委員会

報告事項

- 2月日程について (別紙)
- 自治労関係
 - 戦争をさせない京都1000人委員会集会・デモ行進への参加について (別紙)
 - 解放共闘「2.11京都集会」への参加について (別紙)
 - 第63期「京都人権文化講座」のご案内について (別紙)
 - 2018京都自治研集会の発表レポート募集について (別紙)
 - 第37回地方自治研究全国大会における「自治研チャレンジサポート」の募集について (別紙)
 - 自治労2018春闘ストライキ批准投票の実施と集約について (別紙)
- 対局関係
 - 団体交渉について (別紙)
 - 平成30年3月実施の市バス新ダイヤについて (別紙)
 - 平成30年3月実施の地下鉄新ダイヤについて (別紙)
 - 京都観光一日乗車券「山科・醍醐拡大版」が「地下鉄・バス一日券」とひとつになります (別紙)
 - 市バス車内案内モニターにおける案内表示の充実について (別紙)
 - 京都市交通局と西日本旅客鉄道株式会社の連絡定期券の発売について (別紙)
 - 京都市交通局と阪急電鉄の連絡定期券の発売について (別紙)
 - 『オペラ座の怪人』スタンプラリーの実施について (別紙)
 - 「サブウェイ・パフォーマー2018」の出演者大募集について (別紙)
 - 交通局所有地(市バス九条営業用地の一部)活用事業者の募集について (別紙)
 - 「京都マラソン2018」に伴う地下鉄東西線の特別ダイヤの実施について (別紙)
- その他
 - 近畿労働金庫地下鉄烏丸御池駅改札内ATMオープンについて (別紙)

2018.2.23
幸ビル3階

第4回 中央委員会

執行委員長挨拶

報告事項

- 3月日程について (別紙)
- 自治労関係
 - 府本部第5回執行委員会について (別紙)
 - 連合京都2018春季生活闘争勝利総決起集会への参加要請について (別紙)
 - 第63期「京都人権文化講座」のご案内について (別紙)
 - 2018京都自治研集会の発表レポート募集について (別紙)
 - 第37回地方自治研究全国大会における「自治研チャレンジサポート」の募集について (別紙)
 - 第89回京都中央メーデー会場展示用ポスターの募集について (別紙)
 - 「東京電力福島第二原子力発電所の即時廃炉を求める署名」について (別紙)
 - 「活力ある京都をつくる会」総決起大会への参加について (別紙)
- 対局関係
 - 団体交渉について (別紙)
 - 政策委員会について (別紙)
 - 自動車部係員登用(准係員)試験の実施について (別紙)
 - 若年嘱託職員(市バス嘱託運転士)に係る選考採用試験の実施について (別紙)
 - 第1回被服検討ワーキングについて (別紙)
 - 「地下鉄・バス一日(二日)券」発売における利用範囲の拡大について (別紙)
 - 駅ナカ商業空間「Kotochika北大路」の開催について (別紙)
 - 平成30年3月実施の市バス新ダイヤについて (別紙)
 - 平成30年3月実施の地下鉄新ダイヤについて (別紙)
 - 京都観光一日乗車券「山科・醍醐拡大版」が「地下鉄・バス一日券」とひとつになります (別紙)
 - 市バス車内案内モニターにおける案内表示の充実について (別紙)
 - 京都市交通局と西日本旅客鉄道株式会社の連絡定期券の発売について (別紙)
 - 京都市交通局と阪急電鉄の連絡定期券の発売について (別紙)
 - 第2回「地下鉄丸線車両の新造にかかるデザイン懇談会」の開催について (別紙)
 - 京都市交通局×高島屋京都店×京都マルイ「ecoスタンプキャンペーン」について (別紙)
 - 「京都修学旅行1dayチケット」の価格等の改定について (別紙)
 - 京都エリアウォーク「二条から歩く」の実施について (別紙)
 - 「ZOOっと一緒!地下鉄パンまつりin岡崎」の開催について (別紙)
- 市労連関係
 - 市労連第2回書記長・賃金担当者会議について (別紙)
 - その他
 - 平成29年度の1日当たりの旅客数(速報値)について (別紙)

議案事項

- 2017年度第2四半期会計決算並びに監査報告について (別紙)
- 2018春季生活闘争方針(案)について (別紙)
- 2018春闘要求書(案)について (別紙)
- 第89回京都中央メーデーの取り組み要項について (別紙)
- 組合書記の契約更新について (別紙)
- アルバイト書記の契約更新について (別紙)
- 京都府知事選挙「西脇隆俊」予定候補の推薦決定について (別紙)
- その他



2018春季生活闘争方針



- 1. 2018春季生活闘争を取り巻く情勢
- 2. 最高の公共交通でおもてなし
- 3. 京都市交通局を取り巻く状況
- 4. 京交2018春闘要求事項
- 5. むすび



一、二〇一八春季生活闘争を取り巻く情勢

昨年一〇月二十二日に実施された第四十八回衆議院議員総選挙で過半数を大きく上回る議席を獲得した安倍政権は、引き続き「アベノミクス」を継続していくとしています。「アベノミクス」は、大規模な金融緩和等により企業収益を表面上拡大させているものの、実際には内部留保を増加させただけで、設備投資や民間消費の増加といった実体経済の改善は結びついておらず、既に破綻していることは明らかです。そうした中、デフレ脱却に向けた二〇一八春闘がスタートしました。アベノミクスによる景気拡大は「いざなぎ景気」を上回るとされ、戦後二番目の長さを記録しています。その一方、企業業績も好調で労働需給が逼迫しているにもかかわらず、賃金については中々上昇していない現状にあります。労働者への分配に対する企業のスタンスを見ても、消極的な状況が続いており、企業が生み出した付加価値は、雇用の報酬・配当、内部留保という二つの形で労働者と株主・会社に配分されますが、この労働者の取り分比率（労働分配率）が下落し続けている状況にあります。二〇一八春闘はこうした現状を打開できるかが最大のポイントになつてくると思われ、安倍首相は、今回の春闘において、法人税で賃上げ優遇税制をちらつかせ、経済界に三%の賃上げを要請し、今以上に「官製春闘」の意味合いが強まっていますが、春季生活闘争が持つ賃金決定メカニズムを活かすこと、月例賃金にこだわり、賃金引き上げの流れを継続・定着させることが、労働組合に求められています。

①「官製春闘」の意味合いが強まっていますが、春季生活闘争が持つ賃金決定メカニズムを活かすこと、月例賃金にこだわり、賃金引き上げの流れを継続・定着させること、とりわけ、中小企業労働者や非正規労働者の処遇改善の方向は、「大手追従・大手準拠」などの構造を転換する運動、「サブプライム」を巻き取り参加価値の適正化のの流れの継続・定着・前進させる取り組みを進めていく。③正規労働者・非正規労働者を問わず、長時間労働を是正し、個人々の状況やニーズにあった多様な働き方を選択できる仕組みを整えていく。また、取引の適正化と健全で安全で働きがいのある職場の実現が同時に推し進められるよう、「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現を社会に向けて発信する、としていきます。

また、自治労は、二〇一七年一月二十九日・三〇日、第一五四回中央委員会を開催し、二〇一八春闘方針を決定しました。特に、「非正規労働者とともに進める処遇改善と組織化」「賃金・労働条件の改善と職場からの働き方改革」「質の高い公共サービスと社会的公正労働の実現」を重点課題に位置づけ、取り組みを強化するとしています。具体的には、①改正地公法強化するとして、②改正地公法強化するとして、③すべての労働者の賃金・労働条件の改善に向けた取り組み、④長時間労働、不払い残業の是正とワークライフの遵守、⑤人員確保闘争の推進、⑥地域共生社会の実現、⑦子ども・子育て体制の整備、⑧セーフティネットの整備、⑨地域公共交通の確立、としています。

私たち京交は、二〇一八春季生活闘争において、こうした現状をしっかりと認識し、公務・公共部門労働者の雇用確保と賃金・労働条件の維持、改善はもとより、自治労・連合に結

集し、すべての労働者の雇用確保と実質生活を維持・確保する賃金引上げの実現に向け、全力で闘いを進めることとします。

二、最高の公共交通でおもてなし 私たちは、公共交通の担い手が交通局であり続けるため、「最高の公共交通」をめざし、積極果敢に様々な運動を展開しています。公共交通というものは、利益のみを追求するのではなく、市民やお客様の多様なニーズを汲み取り参画も得ながら、日常生活に密着した運営を行わなければなりません。さらには、日本のお家芸であるはずの「安全・安心」が崩壊している現代社会において、市民の皆様をはじめ社会から「信頼」され「必要」とされる存在であり続けるために、第一義として「安全・安心」を疎かにすることは断じて許されません。加えて、公共交通の存在意義を高めるため、きめ細かな付加価値を付けた「質の高いサービス」を提供しなければなりませんし、個々の「スキルアップ」を図ること、入浴されるお客様「おもてなし」を提供する必要があります。また、「超高齢化社会のもとで移動制約者と言われる方々の「移動」を確保するために交通問題が惹起してくることから、「安全・安心・快適」に移動できる交通環境や周辺環境の整備を求め、「まちづくり」の観点から、一般行政と一体となった都市計画、福祉対策、環境対策などの施策と積極的に連携を図ることで、公共交通の主導的役割を果たさなければなりません。「脱クルマ社会」の実現に向け、他の行政や関係機関と連携し、マイカーから公共交通機関への転換を広く訴えるとともに、公共交通を

利用するメリットが実感できるように施策を推進することが重要であると考えます。依然として、私たちが取り巻く状況が大変厳しいことには変わりありませんが、公共交通に働く者である以上、自らに課せられた使命を放棄することは許されません。また、「市バス・地下鉄」のブランドを背負う一人ひとりの一挙手

一投足が交通局のイメージを大きく左右すると言っても過言ではありません。一方で、職場環境や働き甲斐の向上には職場のコミュニケーションの充実が必須であることから、先輩・同僚・後輩の絆を超えたい刺戟が、最高の公共交通をめざす要素になることに間違いはないという視点に立って、組合活動の原点である支部機能の強化に努めていきます。こうした成果の積み重ねが、結果として、市民の皆様が愛され、必要とされる公共交通になると信じて。

三、京都市交通局を取り巻く状況

世界の人々を魅了する美しい町並み景観と国宝の一九%、重要文化財一四%といった数多くの文化遺産を有する京都には、年間五、五二二万人（平成二十八年実績）もの観光客の方が入浴されています。同時に、一四七万人の市民の皆様が日々の生活や経済活動を営む、現代を生きる大都市であり、また、和の文化を支える伝統産業から世界水準の先端産業に至るまで多彩な技が織り成す「ものづくり都市」であります。この京都のまちにおいて、市域を東西南北に貫く大動脈である地下鉄と、きめ細やかに張り巡らせた市バス路線のネットワークは、日常生活に欠くことのできない生活交通として、また、京都観光の便利でお手ごろな公共交通機関として、一日約七四・二万人のお客様にご利用いただいております。このように、京都市内交通の中で大きな役割を担う市バス・地下鉄ですが、一方で、その経営状況は依然として厳しく、特に地下鉄事業は厳しい状況に変わりありません。

自動車事業については、一般会計からの任意補助金に頼らない「自立した経営」の下、平成二十八年度決算において約二十七億円の経常黒字を計上し、二〇〇三年度以降連続して黒字確保に努めています。また、二〇一八年度予算においては、混雑緩和など喫緊の課題に対応するとともに、更なる利便性の向上を図りつ

つ、前年度以上の経常黒字を確保するとされています。引き続き、黒字経営を継続させるとともに、路線・ダイヤの充実、安全運行の推進、魅力あるバス待ち環境の創出など、更なるお客様の利便性向上を図ることが将来に亘り公営として存続するための重要な施策であります。今後、職場と雇用を守るため、「集中と選択」をしっかりと行い、将来を見据えた運動を展開しなければなりません。

高速鉄道事業は、未だ三、七六四億円の企業債残高を有する「日本一厳しい財政状況」にあると言わざるを得ませんが、二〇〇九年度に現金取支の黒字化（運賃収入で運営費と建設費返済金の利子分を賄うことができる状況）を達成し、大幅に経営基盤の改善が進んでいます。二〇一八年度予算においては、現金取支一〇二億円の黒字を見込み、経営健全化団体から計画より一年前倒しでの脱却を前提とした出資金を繰り入れない予算としています。また、お客様サービスの向上、安全対策、増収増客の取り組みを確実に実行するとともに、一般会計からの必要な支援と市バス事業からの出資金の受け入れにより、経営健全化を着実に実行するとしています。依然として累積資金不足が三〇〇億円を超えるものの、地下鉄は大量輸送機関であるとともに、都市機能を維持・向上させるための重要なインフラストラクチャーであり、市民の大切な財産です。財政状況が劇的に改善することを見込めないものの、この間の実績を糧に、地下鉄を有効に活用した「まちづくり」などの政策を追求していくことが重要であると考えています。

四、京交二〇一八春闘要求事項 京交二〇一八春闘要求事項については、自治労の重点課題を加味し、京都市労連と調整を行い、当局に提出することとします。

①改正地公法強化するとして、②改正地公法強化するとして、③すべての労働者の賃金・労働条件の改善に向けた取り組み、④長時間労働、不払い残業の是正とワークライフの遵守、⑤人員確保闘争の推進、⑥地域共生社会の実現、⑦子ども・子育て体制の整備、⑧セーフティネットの整備、⑨地域公共交通の確立、としています。

私たち京交は、二〇一八春季生活闘争において、こうした現状をしっかりと認識し、公務・公共部門労働者の雇用確保と賃金・労働条件の維持、改善はもとより、自治労・連合に結

集し、すべての労働者の雇用確保と実質生活を維持・確保する賃金引上げの実現に向け、全力で闘いを進めることとします。

〈京交二〇一八春闘要求書〉

- (1) 賃金改善について
 - ① 交通局に働く職員の実質生活水準確保のため、賃金水準・体系を改善すること。
 - ② 給与制度の総合的見直しにより生じたマイナス分を速やかに回復させるとともに、現給保障期間を延長すること。
 - ③ 昇任・昇格基準を改善すること。
 - ④ 公営企業職員・技能労働職員の賃金水準・賃金制度の改善を行わないこと。
 - ⑤ 賃金決定基準の改善について
 - ① 初任給決定基準を改善し、中途採用者等の前歴換算を同種一〇割、異種八割とすること。
 - ② 病休者等の昇給抑制に対する復元措置の改善を図ること。
 - ③ 定年までの勤労意欲を損なわないため、高年齢層における昇給・昇格制度の改善を図ること。
 - ④ 勤務実績の給与等への反映については、市労連との合意内容を尊重し、相対化を行わないこと。
 - ⑤ 京都市が雇用するすべての労働者の最低賃金を行政職給料表、高卒初任給並に引上げること。
 - ⑥ 会計年度任用職員制度の導入にあたっては、「雇用継続の不安」を解消し、賃金・労働条件の抜本的改善を行うことを基本に常勤職員との「均等待遇」を図ること。
 - ⑦ 諸手当の改善について
 - ① 扶養手当については、支給額を引上げ、所得限度額、扶養認定等、支給基準の改善を図り、生活改善に繋がる見直しを検討すること。
 - ② 地域手当については、本俸繰り入れを基準に改善を図ること。
 - ③ 住居手当については、大幅な増額を含め、制度改善を行うこと。
 - ④ 通勤手当については、通勤実態に見合った費用を実費全額支給とし、引き続き、交通用具利用者に対する手当を改善するとともに、合理的な通勤方法を認めること。あわせて全額非課税とすること。
 - ⑤ 交替制・変則勤務者に対する手当を引上げるとともに、時間外勤務手当を一〇〇分の一五〇、深夜及び休日等の場合は一〇〇分の二〇〇とする。また、夜間勤務手当は、一〇〇分の五〇とする。
 - ⑥ 退職手当制度の充実を図ること。
 - ⑦ 一時金への成績率導入や拡大を行わないこと。また、加算措置を改める等、その原資を全職員に公平に支給するとともに、勤勉手当を廃止し、期末手当として年間五ヶ月以上を支給すること。
 - ⑧ 労働基本権について
 - ① 公務員労働者に労働基本権を完全に保障するとともに、団体交渉に基づく賃金・労働条件決定制度を確立するよう政府関係機関に働きかけること。
 - ② 労働運動を理由とする行政処分は一切行わないこと。
 - ③ 在籍専従制限の廃止に向け、関係機関に働きかけること。
 - ④ 健康管理と実効ある「ワーク・ライフ・バランス」の確立を目指すし、時間外労働時間の縮減を図るとともに、公共サービスの水準維持と提供体制確保のため、適正な業務量の管理を徹底し、適正化に必要な人員を配置すること。
 - ⑤ 休暇制度の新設・改善及び、自己啓発、自己実現や社会貢献を促進するための休業制度の新設を含め、総合的休業制度を確立すること。あわせて、そのために必要な予算・人員増を含め諸条件の整備を行うこと。
 - ⑥ すべての職場で完全週休二日制を実施すること。
 - 五、関連労働者の賃金改善について
 - ① 全国全産業一律最低賃金の制度化に努め、地域別最低賃金の大幅引上げ等、具体的取り組みを行うこと。
 - ② 委託先企業等に適正な賃金・労働条件を義務付ける公契約条例を制定すること。あわせて、公契約における適正な労働条件を義務付けるILO1094号条約を批准するよう政府関係機関に働きかけること。
 - ③ 年金・医療・介護等、社会保障制度の充実に向けて、政府関係機関に対する必要な働きかけを行うこと。
 - ④ 高齢者雇用対策について
 - ① 賃金のみで生活を支え得る賃金水準を確保すること。
 - ② 希望するすべての者を55歳まで雇用すること。
 - ⑤ 男女共同参画社会の実現、女性労働者の労働権確立について
 - ① 男女共同参画促進の実現に向けて、「次世代育成支援対策推進法」に基づく「特定事業主行動計画」に基づき、「特定組合との協議の上で実効あるものとし、男女がともに家庭的責任を担いつつ、職業生活と家庭生活を両立できる環境整備、具体的な支援措置を拡充すること。
 - ② 職業生活と家庭生活の両立支援のため、子どもの看護休暇、介護休暇、育児休業、育児部分休業、育児時間等を改善し、昇給・昇格等に不利益を生じさせないこと。また、育児休業の男性取得を促進すること。
 - ③ 公務における男女平等実現のため、昇任・昇格基準、運用等を抜本的に改善し、女性を積極的に任用すること。また、あらゆるハラ・セクハラの実効ある防止策を講じること。
 - ④ 産前・産後休暇の延長や妊娠障害休暇の拡充等、諸休暇制度を改善するとともに、男女ともに働きやすい職場環境の整備を進めること。
 - 六、高年齢者雇用対策について
 - ① 賃金のみで生活を支え得る賃金水準を確保すること。
 - ② 希望するすべての者を55歳まで雇用すること。
 - 七、男女共同参画社会の実現、女性労働者の労働権確立について
 - ① 男女共同参画促進の実現に向けて、「次世代育成支援対策推進法」に基づき、「特定事業主行動計画」に基づき、「特定組合との協議の上で実効あるものとし、男女がともに家庭的責任を担いつつ、職業生活と家庭生活を両立できる環境整備、具体的な支援措置を拡充すること。
 - ② 職業生活と家庭生活の両立支援のため、子どもの看護休暇、介護休暇、育児休業、育児部分休業、育児時間等を改善し、昇給・昇格等に不利益を生じさせないこと。また、育児休業の男性取得を促進すること。
 - ③ 公務における男女平等実現のため、昇任・昇格基準、運用等を抜本的に改善し、女性を積極的に任用すること。また、あらゆるハラ・セクハラの実効ある防止策を講じること。
 - ④ 産前・産後休暇の延長や妊娠障害休暇の拡充等、諸休暇制度を改善するとともに、男女ともに働きやすい職場環境の整備を進めること。
 - 八、福利厚生事業について雇用主責任を明確にし、抜本的な充実・改善を図ること。また、労働安全衛生対策を厳格に確立し、メンタルヘルス対策の充実について、労使協議を行い総合的な対策を推進すること。安全対策についても、安全衛生委員会の活性化等事故防止に努めること。
 - 九、共済制度の充実を努めること。
 - 十、市政改革の推進にあたっては、労使協議を前提とすること。
 - 十一、京都市の財政危機を理由として、賃金・労働条件の引下げや行政サービスの低下に転嫁しないこと。また、地方分権に相応しい税源移譲、必要な地方交付税の確保を求め、京都市の財源の確立のため、国等に働きかけること。京都市の財政健全化への道筋をはじめ、定期的な協議の場を継続すること。
 - 十二、すでに取り交わしている労働協約等については、必ず尊重、遵守すること
 - 十三、京交独自要求については、改めて提出する。

五、むすび

以上、二〇一八春季生活闘争方針を提起しました。私たちの公営交通事業を取り巻く環境は、ここ数年、廃止になった公営交通の状況を見れば火を見るより明らかです。良くも悪くも公営交通事業というものは、常に厳しい目に晒されているのも現実です。「どうせ見られてはいるなら見せていく。」この覚悟で「最高の公共交通でもてなし」をスローガンに、公共交通を牽引する公営交通として奮闘し、これから本格化する春季生活闘争も一丸となって闘い抜いていきたいと思います。



京交執行委員会に「岸まきこ」 予定候補者が単組訪問！ 組織強化を確認した！

2018年1月31日(水)京交本部会議室で行われた執行委員会で次期参議院選挙に出馬予定をしている。「岸まきこ」自治労組織内予定候補が単組訪問。力強く決意表明を行い京交と組織強化を確認し、瀬戸高志執行委員長とガッチリ握手を交わした。



・・・ 執行委員メンバーと一緒に



岸まきこさんとガッチリ握手する瀬戸執行委員長

自治労京都府本部 第168回中央員会

二〇一八年二月七日(水)こどもみらい館で、自治労京都府本部第一六八回中央員会が開催された。冒頭、高橋直樹執行委員長から挨拶があり、成立宣言の後、諸報告が行われた。

① 一般経過報告② 二〇一八年度一般会計中間決算報告③ 二〇一八年度特別会計中間決算報告④ 二〇一八年度一般会計・特別会計中間決算報告について、質疑・討議があり承認された。続いて、第一号議案当面の闘争方針(案)が岡本哲也書記長から、第二号議案府本部執行委員の補充について(案)が中谷文明副執行委員長から提案され、審議の後承認された。闘争宣言(案)が読み上げられ、最後に団結ガンパローで締めくくり、中央員会は終了した。



講案提案を行った中谷副委員長(京交副委員長)



挨拶をされた高橋委員長

男女がともに担う府本部学習会報告

二〇一八年一月三〇日(火)、キャンパスプラザ京都にて、『男女がともに担う府本部学習会』が開催され、京交からは青年女性委員会より四人が参加しました。冒頭に、「女性らしさ」「男性らしさ」という言葉について話があり、普段、何気なく使っている言葉ですが、男性、女性だからこうあるべきと知らないうちに考えていた部分が自分自身の中にもあることに気付きました。何年か前よりは職場でも男女の差はなくなってきたと実感は出来ると思いますが、『男女平等の職場』を思いますが、『男女平等の職場』をつくっていく上で、今一度小さいことに目を向けることが大切だと感じました。二〇一九年七月に行われる第二十五回参議院議員選挙(全国比例区)に自治労組織内候補予定者の「岸まき子」さんが『男女平等の職場づくり』について講演されました。今年



～ 岸まきこさんと参加者全員で！～



講演をされた岸まきこさん

● お詫びと訂正 ●
京交機関紙七四六号年末清掃エンパワメント報告の記事で、駅務支部の集合写真に西賀茂支部と表記してありました。正しくは、駅務支部です。大変申し訳ございません。



今回で七回目となる京都マラソン二〇一八が行われ西賀茂支部から宮井博幸さんと山内博之さんの二人が参加されました。午前九時に西京極陸上競技場の気温が六・七度と前年を四・三度下回る寒さの中、約一万六千人と共にスタート。二人は仁和寺や京都御苑などの歴史豊かな名所沿いや鴨川河川敷などを走り懸命にゴールの平安神宮を目指しました。宮井さんが自己新記録の三時間三十七分二十七秒で山内さんが前回より七秒早い三時間十五分二十九秒と共に素晴らしい好タイム見事完走されました。



マラソン大会に参加された西賀茂支部宮井博幸さん(左)と山内博之さん(右)

烏丸線乗務支部 幡 匡さん



ご夫婦で参加された烏丸線乗務支部 幡 匡さん

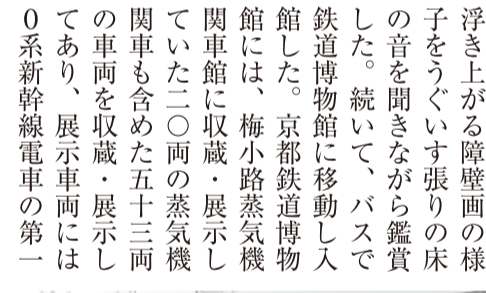
二〇一八年 京都マラソン大会に参加！
感想を語ってくれました。

組合員の窓

西村 誠 教宣部員

文化体育事業報告

冬の文化体験 二条城・鉄道博物館に274人が参加！



二〇一八年二月一〇日(土)世界文化遺産に登録されている二条城に職員と家族二十七人が集まり、文化体験を行った。二条城は一六〇三年(慶長八年)徳川家康が造営、三代家光が伏見城の構造を移すなどして増築を行い一六二六年(寛永三年)に現在の規模になった。東西五〇〇メートル、南北四〇〇メートルに渡り堀をめぐらしており、一八六七年(慶応三年)十五代慶喜が大政奉還を決めたことでも知られている。現存する二の丸御殿(国宝)は六棟からなる武家風書院作。部屋の障壁画は狩野一門の名作が施されており、彫刻、飾り金具を含め桃山美術の粋を伝えている。残念ながら本丸御殿は天明の大火(一七八八年・天明八年)に焼失したが、現在は京都御苑内にあった旧桂離宮御殿を移築しており、一九九四年(平成六年)に古都の文化財として世界文化遺産に登録されている。参加した職員は、彫刻の動物を探したり、

浮き上がる障壁画の様子をうぐいす張りの床の音を聞きながら鑑賞した。続いて、バスで鉄道博物館に移動し入館した。京都鉄道博物館には、梅小路蒸気機関車館に収蔵・展示していた二〇両の蒸気機関車も含めた五十三両の車両を収蔵・展示しており、展示車両には0系新幹線電車の第一



号車や、時速三〇〇kmでの営業運転を実現しギネスブックにも掲載された500系新幹線電車、戦後の特急列車を牽引した国鉄最大のC62形蒸気機関車など、歴史的な価値を持つ車両が収蔵してある。参加した職員は家族と共にシミュレータの体験や展示列車を見学し、有意義な時間を過ごした。



九条営業所、小林直也運転士(左) 野口佐依子運転士(右)

接客態度 二級表彰報告

二〇一八年二月十五日(木)天神川大会議室で接客態度優秀者二級表彰が行われました。高見部長から九条営業所、野口佐依子運転士と小林直也運転士に賞状が授与されました。おめでとうございます。

接客態度優秀者制度とは

- 三級 感謝表明や適切な対応など接客態度が優秀であった場合。
- 二級 感謝表明や親切な対応など接客態度が優秀であり、三級表彰よりさらに上位の表彰がふさわしいと認められる場合対象職員が三級表彰を過去に複数回受賞している場合。
- 一級 感謝表明や親切な対応など接客態度が優秀であり、二級表彰よりさらに上位の表彰がふさわしいと認められる場合対象職員が二級表彰を過去に複数回受賞している場合。

クロスワードパズル 新春お年玉クイズ解答

問題文「二ホンジンデハツンヒヤクメートルキユビョウダイエハシツタアスリートハ? (日本人で初の100メートル9秒台で走ったアスリートは?)」

答え「榎生祥秀」

フ	イ	ル	ド	ア	ス	レ	チ	ツ	ク	ヒ	カ	リ	フ	アイ	バ	ー
ロ	ン	フ	ム	レ	キ	エ	ビ	コ	カ	イ	レ	イ	ブ			
テ	イ	ア	ラ	ハ	イ	ド	ル	キ	ウ	ク	エ	ク	ボ			
イ	カ	ン	コ	ン	ト	イ	シ	リ	ソ	ウ	シ	シ	ル	ド	ウ	
ア	タ	レ	ン	ト	カ	ジ	ユ	ウ	ン	キ	ユ	ウ	ル	ウ	ブ	
ス	タ	オ	ウ	イ	ン	ミ	カ	ク	モ	ウ	ス	イ	ブ			
ピ	イ	ク	セ	イ	ビ	イ	ル	カ	ア	リ	タイ	ツ				
リ	シ	ハ	イ	ツ	シ	コ	マ	カ	ロ	ヘ	チ	マ				
ツ	イ	リ	ン	シ	ヨ	イ	オ	メ	イ	ゴ	サ					
ト	サ	カ	ヒ	ト	テ	ウ	ヤ	リ	ウ	ジャ	ツ	カ				
イ	ナ	カ	ウ	ン	ガ	カ	リ	キ	ユ	ラ	ム	リ	コ	カ		
ト	ゴ	ル	ワ	イ	ン	ン	ウ	リ	ス	ク	ア	ン				
ウ	キ	テ	ビ	キ	カ	カ	ガ	ヤ	ヒ	メ	カ	リ	ス	マ		
ホ	ン	テ	ン	ヨ	ク	ヒ	ン	シ	イ	ラ	イ	ス	モ	リ		
ン	ツ	シ	ヨ	キ	シ	キ	イ	ニ	シ	メ	カ	ヨ	リ			
セイ	イ	ウ	カ	ヤ	ト	ウ	シ	ヨ	ト	ン	ソ	ウ				
セイ	イ	チ	バ	ウ	メ	タ	テ	シ	キ	カ	シ	ヨ	ウ			
ソ	デ	ゴ	ル	ド	イ	ハ	ン	ヘ	リ	ツ	オ	カ	ユ			
ウ	シ	ロ	ド	リ	ク	イ	カ	ビ	ン	キ	ゲ	ン				

- 「お年玉賞」商品券三〇〇〇円分 当選者氏名(敬称略)
- 東西線乗務支部 佐藤 雄介さん 烏丸線乗務支部 大村 有輝さん
 - 東西線乗務支部 川瀬 護さん 烏丸線乗務支部 中小原康平さん
 - 駅務 森本 和彦さん 烏丸線乗務支部 進 早加恵さん
 - 本局 笠井 堅輔さん 梅津支部 宮崎 智さん
 - 駅務 吉尾 昌洋さん 梅津支部 川端 勉さん

クロスワードパズル 京交742号解答

コ	エ	ツ	ド	ウ	シ	ユ	ウ
コ	ー	ル	ス	ル	メ		
ク	ス	カ	ベ	ジ	キ		
ホ	コ	ニ	ラ	カ			
ウ	メ	シ	ユ	イ	カ	ン	
ジ	ツ	ウ	カ	イ	シ		
ヨ	カ	ダイ	ドウ				
ウ	ス	ク	チ	キン	カ		

■答えは「ゴールドラッシュ」

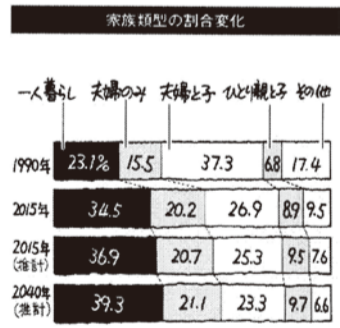
当選者氏名(敬称略)

- 岡澤 恭子さん(烏丸線乗務支部)
- 室谷 和彦さん(電整支部)
- 森山 大輔さん(本局支部)

From みぶ

2040年に高齢者人口がピーク 高齢者の4人に1人が独居に

2040年には、全世帯に占める一人暮らしの割合が39.3%に達し、65歳以上ではほぼ4人に1人に当たる22.9%が一人暮らしになるといふ。要因として考えられるのが晩婚化や未婚者の増加だ。また、40年は1970年代前半生まれの「団塊ジュニア」が高齢者となり、高齢者人口がピークを迎える時期だ。今後、未婚の単身高齢者を支える社会保障制度の確立や地域の積極的な取り組みが早急に必要となる。



脳を鍛える クロスワードパズル

問題文「AからGまでの文字をならびかえると...」

A	1	3	5	7	9	12
B	2	13	16		F	14
15						10
17			6		E	8
18	C	4				
19						20
						21

■AからGまでの文字をならびかえると...

- 21 物
- 20 公式に人と人が会うこと
- 19 必ず携えていること
- 18 誇らしげに示すこと
- 17 水鶏
- 16 夜間に勤務すること
- 15 〇〇の恩返し
- 14 〇〇を引いてみる
- 13 〇〇をかけること
- 12 立ったまま見ること
- 11 S、〇〇、L
- 10 先代以前のすでに亡くなっている人
- 9 茶を飲んだり飯を食べるための陶磁器
- 8 ルネッサンス
- 7 日本から翌朝までの一晩
- 6 日暮れから翌朝までの一晩
- 5 地表面の高低や起伏のありさま
- 4 砂糖もミルクも入れないコーヒ
- 3 非常によく似ていること
- 2 〇〇を鳴らしてヤツが来る
- 1 身を〇〇にして働く
- 11 日本通貨単位
- 10 ある程度の広さで、いつも水がたまっている所
- 9 世の中になくさんあるくたらないもの
- 8 くだらないもの
- 7 〇〇の力
- 6 身を〇〇にして働く
- 5 日本通貨単位
- 4 ある程度の広さで、いつも水がたまっている所
- 3 世の中になくさんあるくたらないもの
- 2 くだらないもの
- 1 〇〇の力

「クロスワードパズル」のコーナーです。ちょっと一息！頭の体操してみませんか？AからGまでの七文字をならびかえて一つの言葉にしてください。正解者の中から抽選で三人の方に「全国百貨店共通商品券」千円分をプレゼントします。どしどし応募してください。

このクロスワードが解けた方は、支部名、コード番号、名前、機関紙に対するご意見・要望等を記入の上、京交本部教宣部機関紙編集チームまでお送りください。締め切りは三月三〇日(金)必着です。なお当選者の発表は次号以降の機関紙「京交」で！

都夢ちゃんのとりの言

ウツボ

海老の旨味は、殻を剥いて食べると、濃厚な味わいがあります。殻は、殻を剥いて食べると、濃厚な味わいがあります。殻は、殻を剥いて食べると、濃厚な味わいがあります。

ウツボは、海老の旨味を最大限に引き出すために、殻を剥いて食べると、濃厚な味わいがあります。殻は、殻を剥いて食べると、濃厚な味わいがあります。